

地域のもりから学ぶ森林づくり 2014

「森林の生物多様性を学ぶ」 第一回森林教室

GPS周囲測量

植生調査

| 植物名 | 種類別計 |
|----------|------|
| カタクリ | 141 |
| エゾエンゴサク | 53 |
| ニリンソウ | 128 |
| トリカブト | 34 |
| アキタブキ | 24 |
| キバナノアマナ | 2 |
| オオイタドリ | 10 |
| セイヨウタンポポ | 12 |
| 不明、その他 | 28 |
| 計 | 432 |

- カタクリ
- エゾエンゴサク
- ニリンソウ
- トリカブト
- アキタブキ
- キバナノアマナ
- オオイタドリ

第1回森林教室は5月14日（水）に旧三笠山スキー場跡地で実施しました。今回の森林教室は「身近な自然を見に行こう」と題して、定山溪の身近な自然や森林を観察することを目的に実施しました。

まず初めに、自分たちが守っていききたいカタクリやエゾエンゴサクの群生地の位置や面積などを調べるため、GPS機器を活用して周囲測量等を行い、地図上の位置や面積などの確認を行い、群生地は約10,000m²の面積があることが分かりました。

また、私たち森林を管理する職員の活用方法や日常の活用方法などを知っていただくこともできました。日常、目に触れることのないGPS機器、ちょっと楽しそう。

次に、スキー場跡地（草地）のカタクリ等の群生地にどのような種類の植生が、どの程度の数があるかを調べてみました。1m四方の枠を用いてプロットを取り植生を一つ一つ調べていきます。植生の数の結果は上の表の通りです。

今回はカタクリが141個、エゾエンゴサク53個で全体の45%を占めてました。

また今回は、樹木のない三笠山スキー場跡地の調査のほか、樹木が茂っている森林の中の北向き斜面や南向き斜面についても調査を行いました。カタクリやエゾエンゴサクは草地より生息数が少なく、樹木の稚幼樹やシラネアオイ、シダ類のコタニワタリ等が生息しています。斜面の向きによる違いも分かりました。

定山溪の街の周辺には、この他にも豊かな自然がたくさんあります。是非、色々な場所で探してみましよう。

今後の日程

○6月9日（月）

第2回森林教室

森林の観察など

○7月9日（水）

第3回森林教室

無意根山登山、森林環境観察など



カタクリ



エゾエンゴサク

